

成果報告書

担当者：由比 進、渡邊 学、田口芳彦、中西 啓、九翟里美

講座名：第3回 大学農場で体験する食と農と生物学

実施日：令和4年7月27日（水）

受講者数：18名

定員数：20名

受講料：無料

目的

農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝沢農場のもつ豊かな教育研究資源を地域社会に開放し、フィールド実習教育の体験を通し、生きるために欠くことのできない食と、それを支える農に対する理解を深める場を提供する。農業、農学、生物学に興味のある高校生と保護者が、滝沢農場で夏季の農作物栽培管理を体験する。これにより、参加者が食と農と生物学に関する理解を深め、また、高等学校で学習している教科（特に生物）と農業との関わりを知る機会となる。日常の高等学校での学習の動機づけだけでなく、岩手大学農学部への入学希望者の増加も期待できる。

活動実績

9:30 受付（担当：九翟）

10:00 自己紹介（担当：由比、渡邊）

10:10 農場内の見学、クッキングトマト、ブルーベリーの収穫体験
（担当：由比、渡邊、中西）

11:50 昼食

12:20 農場学生による研究紹介（担当：修士2年 畠山将幸、修士1年 豊田春喜、学部4年 新井明日香、及川奏子、川口実穂、濱口 木）

13:00 野菜の講義（担当：由比）と果樹の講義（担当：渡邊）

13:50 ブルーベリージャム作り（担当：田口、由比、渡邊）

15:00 アンケート（担当：由比、渡邊）

15:15 終了

ほぼ定員通りの参加数であった。終了後のアンケート（大変満足～大変不満の5択）では、16名が「大変満足」、2名が「まあまあ満足」を選択していた。自由記述の感想では、有意義な体験をできたという内容が多くみられた。特に、体験ごとに参加者が質問できる時間を多く設けたことが高く評価されていた。参加者が疑問に思ったことをすぐに質問できる点が良かったようである。

今後の課題

開催時期は、高校生が平日に参加できること、収穫物や見学できる農作物が多いことから7月下旬に設定した。しかし、最も暑い時期の開催であったことから、参加者からは、「熱中症にならないか気になった」、「もっと涼しい時期に開催してほしい」という意見が多数あった。悩ましい問題であるが、今後、9月～10月の開催についても検討したい。

